

令和3年度事業報告書

I. 法人の概要

□教育方針

教育方針

使 命

生徒に夢と希望を与え、生きる力を育み
「自立した、社会に
貢献できる女性を育てる」

スローガン

The Creation of Character
個性創造
— Change for the Better —

重点目標

- ① 基礎学力の向上
- ② 女性としての教養と
マナーの習得

やればできるは魔法の言葉
自分サイズの未来を拓く
チャンス・メーカー 好文学園

学校長 延原 観司

□学校法人の沿革

昭和 12 年 2 月(1937)	大阪商科女学校として大阪市福島区上福島西通に、実業家・臼谷吉五郎が私財を投入して創設
昭和 12 年 4 月(1937)	創立
昭和 19 年 3 月(1944)	文部省中学校令により財団法人設立許可、大阪福島女子商業学校と改称(修業年限 4 ヲ年)
昭和 22 年 3 月(1947)	中学校令改正により修業年限 5 ヲ年となる
昭和 23 年 4 月(1948)	学制改革により新制高校大阪福島高等学校となる
昭和 25 年 3 月(1950)	大阪工業高等学校(定時制)を併設
昭和 26 年 3 月(1951)	新法令による学校法人大阪福島学園認可
昭和 33 年 1 月(1958)	校舎類焼、現在地へ移転
昭和 35 年 4 月(1960)	大阪福島女子高等学校と改称
昭和 42 年 11 月(1967)	創立 30 周年記念式典を挙行
昭和 48 年 4 月(1973)	普通科併設
昭和 49 年 3 月(1974)	別館 1 号増築竣工
昭和 52 年 4 月(1977)	創立 40 周年記念式典を挙行
昭和 54 年 4 月(1979)	第 2 体育館竣工、テニスコート 2 面完成
昭和 60 年 3 月(1985)	別館 2 号竣工
昭和 62 年 4 月(1987)	商業科情報処理コース、普通科特進コース設置
昭和 62 年 6 月(1987)	別館 3 号竣工
昭和 62 年 6 月(1987)	創立 50 周年記念式典を挙行
平成元年 8 月(1989)	ホームステイ(アメリカ合衆国ユタ州)実施
平成元年 10 月(1989)	全国私学教育研究集会大阪大会商業分科会開催
平成 6 年 4 月(1994)	別館 4 号竣工
平成 7 年 8 月(1995)	弓道部インターハイ女子団体初優勝
平成 8 年 4 月(1996)	PLC アーミディル校姉妹校提携(オーストラリア)
平成 11 年 4 月(1999)	ビジネス科(情報コース・ビジネスコース)、普通科に学科改変
平成 13 年 3 月(2001)	カナダ語学研修旅行実施(以降定期的に実施)
平成 14 年 4 月(2002)	情報ビジネス科(情報コース・ビジネスコース)、普通科(総合コース・英会話コース・デザイン美術コース)に学科改変
平成 16 年 4 月(2004)	普通科に体育コース・保育コース設置
平成 18 年 4 月(2006)	情報ビジネス科募集停止 普通科に情報コミュニケーションコース設置
平成 19 年 4 月(2007)	創立 70 周年 マンガ・アニメーションコース設置
平成 20 年 4 月(2008)	好文学園女子高等学校に改称 特進選抜コース、標準進学コース、総合選択コース、IT ライセンスコース設置
平成 20 年 9 月(2008)	新校舎竣工

平成 21 年 1 月(2009)	耐震化工事実施
平成 21 年 4 月(2009)	校庭の芝生化を実施
平成 21 年 4 月(2009)	変形労働時間制の導入と 36 協定一部締結、及び人事考課制度の実施
平成 22 年 4 月(2011)	36 協定全面締結
平成 24 年 4 月(2012)	財政改革 5 ヵ年計画(好文リバイバルプラン)スタート
平成 26 年 4 月(2014)	看護医療系進学コース設置
平成 28 年 3 月(2016)	学校隣接土地取得
平成 29 年 4 月(2017)	創立 80 周年祝賀会を挙行
平成 30 年 4 月(2018)	体育館、美術棟着工(新校舎)
平成 30 年 7 月(2018)	学校隣接土地建物取得
令和 元年 9 月(2019)	新校舎A3(体育館・美術棟)竣工
令和 2 年 5 月(2020)	テニスコート改修、クラブハウス竣工
令和 3 年 4 月(2021)	コース再編、「3 エリア 9 コース制」へ (総合進学エリア) 特別進学、進学アドバンス、進学フロンティア コース (キャリア進学エリア) 看護医療系進学、幼児教育、ITライセンス コース (メディア芸術エリア) メディアクリエイター、デザイン美術、マンガ・アニメーション コース

□設置学科と定員（令和3年5月1日現在）

科・コース	入学定員	収容定員	現員
全日制 普通科 9コース(※)	300名	1,200名	815名

※ 特別進学、進学アドバンス、進学フロンティア、看護医療系進学、IT ライセンス、
メディアクリエイター、デザイン美術イラスト、マンガ・アニメーション
＜標準進学(Ⅰ類・Ⅱ類)、スポーツ健康＞

□役員概要（令和3年4月1日現在）

役員の定数 理事：5人以上9人以内、監事：2人以上4人以内 現員は以下の通りである。

理事長	延原 観司
理事	花田 守
理事	濱田 雄久(非常勤)
理事	福井 要 (非常勤)
理事	溝畑 博稔(非常勤)
理事	湯朝 哲朗(非常勤)
理事	坂根 友子(非常勤)
監事	一瀬 満子(非常勤)
監事	向 明美(非常勤)

□評議員の概要（令和3年4月1日現在）

評議員の定数は、12名以上23名であり、現員は18名である。

□教職員の概要（令和3年4月1日現在）

専任教員	専任職員	非常勤教員等	教職員合計
31名	3名	45名	79名

Ⅱ. 事業の概要

□法人運営

① 収支均衡バランス

令和2年度に「新校舎棟整備事業」が完了し、令和3年度については収支均衡のバランスを考慮し支出を抑制した態勢がとれた。

資金収支については、入学生が321名と前年比77名と増加し在籍者数は815名と前年比73名増でのスタートとなったが、先行きを考慮し前年に引続き一時金の抑制及び経費の圧縮及び経費の圧縮に努め、次年度繰越資金648百万円を確保した。

生徒数の一定の確保により、必要なる施設設備を除き、収支均衡で支出を抑制したバランスの取れる態勢を作っていく。

② 施設・設備の充実等

- ・高速プリンターを設置した。
- ・校用車（ハイエース）を1台購入した。
- ・別館2号3階 お茶室（好文亭）の改修を行った。
- ・別館3号4階（クリエイティブルーム）の生徒用PC43台、プロジェクターの更新を行った。
- ・校内無線ネットワーク（無線LAN）を構築した。
- ・感染症対策として、空気清浄機7台設置した。
- ・別館3号5階 情報教室の改修を行った。
- ・別館3号4～6階のトイレの改修を行った。（和→洋）

③ 勤務体系

- ・人事考課制度に基づく給与反映継続（11年目）
 - ・特別賞与制度を創設した。
 - ・1年単位の變形労働時間制継続実施（年間労働時間1,966.5時間）
 - ・36協定締結継続
- 等により、さらなる労働環境整備とやりがいある職場づくりを進化させた。

□学校運営

① 生徒募集

令和4年度の入学者数は288名と前年対比△33名という結果に終わった。

OS、クラブ体験会、個別相談会の参加者数は1,366名(対前年△60名)、問合せ者数1,813件(対前年△70件)、外部説明会訪問者数242名(対前年△26名)といずれも前年を下回った。特にOSについて、実施回数が令和2年度6回に対して、令和3年度は8回と増やしたにも関わらず、効果が得られなかった。OSに3回以上参加した中学生の受験率は、75.0%(対前年+10.4)と、上昇しており、OSの内容や教職員の対応は評価されるものとする。

② 生徒指導

・遅刻生徒の指導を徹底した。担任、学年、生徒指導による遅刻指導により、遅刻数は昨年度より微減。

・マナーや服装違反生徒の指導

「リアルタイム指導」を実施し、服装の乱れやマナー違反を見逃さず、その場で注意と記録により段階的に指導を実施した。指導数は昨年度より微減。年々服装違反の生徒が少なくなっている。今年度よりパンツスタイルの制服を導入は好評である。

・いじめアンケート年2回実施

いじめの早期発見と防止にとどまらず、些細な事も聞き取れるよう留意し生徒サポートに努めた。6月のアンケートで3名、11月のアンケートで4名の聞き取りを行った結果、問題はなかった。

・健康観察 朝礼時の健康観察票の徹底・昼食時の黙食の徹底

朝の健康チェックおよび環境整備をおこない、昼食時は担任指導による黙食の徹底をおこなうことにより、感染症拡大防止に取り組んだ。

・支援を要する生徒の情報共有およびケース会議の開催で学校生活をサポートした。

③ 教育の充実と学力向上

・感染症拡大による臨時休校・計画休校(計9日間)があったが、行事予定を変更し、授業日数を確保した。

・令和4年度から始まる「観点別学習状況の評価」実施に向けて、各科目ごとの評価の観点及び趣旨に基づき、評価の規準と評価の方法を定め、授業を展開する。

職員会議にて、学習成績の評価について統一をおこなった。

・新指導要領に基づくキャリア教育ではHR活動を通じて、「キャリアパスポート」の作成を行ったが、本年度より進路指導と一致した内容に変更する。

・大阪府教育課程協議会は、年度に続いて中止となった。各教科、動画による研修となった。

・ICTを活用した授業については、生徒(1年生)・教員がiPadの授業活用が進んでいる。

配付プリントのデジタル化、小テスト等の実施、iPadを活用しての発表などをすすめ

□施設設備の状況

所在地	施設等	面積	取得価格	帳簿価格	摘要
大阪市西淀川区千舟3-8-22	校地	13,955 m ²	193,836 千円	193,836 千円	
	校舎6棟等	14,611 m ²	4,008,978 千円	2,466,923 千円	

Ⅲ. 財務の概要

□令和3年度決算の概要

資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表、財産目録、監査報告書は別添参照

□経年比較

①貸借対照表

(単位 千円)

項目	令和元年度末	令和2年度末	令和3年度末
固定資産	3,472,905	3,397,332	3,292,552
流動資産	556,429	652,705	754,792
【資産合計】	4,029,334	4,050,036	4,047,344
固定負債	106,635	67,403	58,821
流動負債	132,770	191,757	172,067
【負債合計】	239,405	259,160	230,887
基本金	4,619,625	4,684,959	4,711,924
繰越収支差額	△829,696	△894,083	△895,467
【負債・純資産 合計】	4,029,334	4,050,036	4,047,344

②事業活動収支計算書

(単位 千円)

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度
教育活動収入計	798,150	750,359	825,840
教育活動支出計	847,303	753,159	805,065
(教育活動収支差額)	△49,152	△2,800	20,775
教育活動外収支差額	71	48	14
(経常収支差額)	△49,081	△2,752	20,789
特別収支差額	5,065	3,700	4,791
(基本金繰入前収支差額)	△44,016	948	25,580
基本金組入額	△1,108,330	△65,335	△26,965
(当年度収支差額)	△1,152,346	△64,387	△1,385
(翌年度繰越収支差額)	△829,696	△894,083	△895,467